

愛媛県高校生 10 人制競技規則

2011.5.13 改定

15 人制の競技規則、19 才未満標準競技規則に以下の変更を加えたものを、10 人制競技規則とする。
(以下に書かれていない項目については、15 人制競技規則、19 才未満標準競技規則通りとする。)

＜第 3 条＞プレイヤーの人数

- 1 競技区域における、プレイヤーの最大人数
両チームとも、競技区域にいるプレイヤーの人数は 10 人を越えてはならない。
- 4 交替／入替えのプレイヤーとして指定されたプレイヤー
交替／入替えのとして指定されたプレイヤーは、1 チームあたり 10 名以内とする。
- 10 一時的交替
出血をおさめるか、開いた傷口を覆う場合は、一時的交替が認められる。このときの時間は 5 分以内とし、それを越える場合は正式な交替とする。
- 12 入替えプレイヤーの人数
1 試合で 1 チームあたり、10 名のリザーブのうち 8 名まで、入替えあるいは交替することができる。

＜第 5 条＞試合時間

- 1 試合時間
試合時間は 20 分以内に加えて、失われた時間、延長時間とする。試合は競技時間 10 分以内ずつ前後半に分けて行う。
- 2 ハーフタイム
ハーフタイム後、サイドを交換する。休憩時間は 2 分以内とする。

＜第 9 条＞得点方法

- 1 コンバージョンキックを行う
(c) トライした側がコンバージョンキックを行うことを選択した場合、キックはドロップキックで行わなければならない。(プレースキックは不可)
(e) キッカーはトライの 40 秒以内にキックを行わなければならない。
罰 40 秒以内にキッカーがキックを行わない場合は、そのキックを禁止する。
- 3 相手側
(a) 相手側のプレイヤーはすべて直ちに自陣 10 メートルライン付近に集まらなければならない。ただし、正当にチャージする場合はこの限りではない。

＜第 10 条＞不正なプレー

- 一時的退出 (シン・ビン) 制度
イエローカードによる一時的退出の時間は 3 分間とし、ハーフタイムの休憩時間は含まない。
ノーサイドにより自動的に終了する。

＜第 13 条＞キックオフと試合再開のキック

- 2 キックオフの方法
(c) 得点後は、得点した側がキックオフを行う。
- 4 キックオフ時のキッカー側のポジション
キッカー側はすべて、キックする場合には、ボールの後方にいなくてはならない。これに反するときは、ハーフウェイラインの中央で相手側にフリーキックが与えられる。
罰 ハーフウェイラインの中央でフリーキック
- 8 10 メートルに達しないキックオフが相手にプレーされなかった場合
ボールが相手側の 10 メートルラインに達しない場合、キックをしなかった側にハーフウェイラインの中央でフリーキックが与えられる。
罰 ハーフウェイラインの中央でフリーキック
- 9 ボールが直接タッチになった場合
ボールはフィールドオブプレーに着地しなければならない。
罰 ハーフウェイラインの中央でフリーキック

- 10 ボールがインゴールに入った場合
- (a) キックオフのボールがプレーヤーに触れずにあるいは触れられることもなく相手側のインゴールに入った場合、相手側は次の3つのうち1つを選択する。
- ・ボールをグランディングする、あるいは
 - ・ボールをデッドにする、あるいは
 - ・プレーを続行する
- (b) 相手側がボールをグランディングするか、デッドにするか、またはボールがタッチインゴールに出たり、デッドボールラインに触れるか越えるかしてデッドになった場合、ハーフウェイラインの中央で相手側にフリーキックが与えられる。
- 罰** ハーフウェイラインの中央でフリーキック

＜第20条＞スクラム

- 1 スクラムの形成
- (e) プレーヤーの人数
- スクラムの形成は、双方それぞれ5人のプレーヤーによらなければならない。その5人のプレーヤーはスクラムが終了するまで継続してバインドしていなければならない。双方のフロントローはいかなる場合でも3人のプレーヤーでなければならない。2人のプレーヤーが2列目を形成し、少なくとも一方の肩と腕がフロントローの腰にバインドされていなければならない。2人の2列目のプレーヤーは、互いにバインドする必要はない。
- 罰** ペナルティーキック
- ★例外**
- ・プレーヤーが揃えられない場合
 - ・不正なプレーによる退場、または一時的退出
 - ・負傷
- の場合、スクラムの参加人数は5人より少なくしなければならない。この例外も含め、双方それぞれ少なくとも3人はスクラムに参加しなければならない。
- 一方のチームが完全に揃わない場合、双方のスクラムは3人のフロントローのみで形成されなければならない。この場合のコンテストも平常通り行う。
- (g) スクラムは、まずフロントローすなわち双方3名のプレーヤーによって4段階(クラウチ、タッチ、ポーズ、エンゲージ)で生まれ、レフリーの合図でセカンドローが2名つき、合計5名ずつで形成される。
- 罰** フリーキック
- 8 フロントロー
- (c) フロントローはトンネルの外側に向けて、あるいは相手側ゴールラインの方向に向けて、故意にボールを蹴り出してはならない。
- 罰** ペナルティーキック
- 10 スクラムの終了
- (c) 2列目のプレーヤーがバインドをはずした場合
- スクラムの2列目を形成するプレーヤーのうち、自分の足元にボールがある方のプレーヤーは、その状態でバインドをはずして足元にあるボールを拾い上げてよい唯一のプレーヤーである。このような行為をした場合には、スクラムは終了する。
- 罰** ペナルティーキック

＜第21条＞ペナルティーキックおよびフリーキック

- 4 ペナルティーキックおよびフリーキックにおける制限
- (b) 過度の遅滞
- ペナルティーキックが与えられた場合、攻撃側は30秒以内にキックするか、レフリーにゴールキックの意志表示をしなければならない。レフリーにゴールキックの意思表示をした場合はさらに30秒以内にゴールキックを行わなければならない。(キックティーの使用可)
- 罰** 上記の時間を越えた場合、キックは禁止され、マークでスクラムを組み、相手側がボールを入れる。